

# 点検業務仕様書

## 第1章 業務概要

- 1 件 名 令和7年度穴生ドーム膜構造部点検業務委託
- 2 履行場所 北九州市八幡西区鉄竜一丁目5番2号
- 3 履行期間 契約締結の日から令和8年3月31日まで
- 4 対象業務
  - (1) 本仕様書の対象業務は、次のとおりとする。(疑義がある場合は、協議の上決定する)  
膜点検
    - ・膜張力測定（一般部26箇所、妻部4箇所）
    - ・膜定着ボルト点検 分割部：10列中の1箇所3本のトルクチェックを両妻面行う  
膜周囲：4箇所の緩みチェック  
内 部：地上部より双眼鏡にて目視可能な範囲確認
    - ・膜面の状態点検（外部を高所作業車、内部を双眼鏡で目視可能な範囲確認）
    - ・ケーブル点検（高所作業車で位置ずれ、コーティングの状態等確認）
    - ・鉄部（膜用二次部材）点検（錆等を目視可能な範囲確認）
    - ・報告書作成（報告書には、異常があった場合に正常に戻す費用も記載）

※点検方法は、(社)日本膜構造協会の膜構造建築物維持保全計画指針、同解説を参考とする。

## 第2章 共通仕様

- 1 業務関係図書  
次の書類を作成し、定められた期日までに担当者の承諾を得ること。
  - ① 業務計画書（業務開始5日前まで）
  - ② 緊急連絡表（業務の実施前まで）
- 2 業務責任者  
業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、次の事項について書面をもって提出する。  
なお、業務責任者に変更があった場合も同様とする。
  - ① 氏 名、年 齢、経歴
  - ② 資格書（写）  
一級建築士等
  - ③ 受注者との雇用関係を証明する書類
- 3 業務担当者
  - (1) 本業務の実施に先立ち、業務担当者に関する次の事項について、書面をもって施設管理担当者に通知する。なお、業務担当者に変更があった場合も同様とする。
    - ① 氏 名、年 齢

② 資格書（写）

(2) 業務担当者は、業務を遂行する上で必要な知識、技能及び資格を有すること。

※膜点検を行なう者は、(社)日本膜構造協会の登録点検者としてすること

4 業務条件

実施日・作業時間帯は、建物使用に支障のない日・時間帯とし、施設管理担当者との協議による。

5 成果品

作業終了後速やかに報告書（A 4 製本 2 部）を提出する。なお、点検の結果が建築物のカルテとして役立つよう、その建築物の履歴が分かるように留意して報告書を作成すること。詳細については、協議による。

6 受注者の負担の範囲

受注者の負担の範囲は次による。

- ① 業務の実施に必要な電気、ガス、水道等の使用にかかる経費
- ② 業務の実施に必要な外線電話等の使用にかかる経費
- ③ 業務の実施に必要な資材、消耗品、材料等
- ④ 文具等の事務消耗品
- ⑤ 日誌及び報告書の用紙、記録ファイル

7 廃棄物の処理等

業務の実施に伴い発生した廃棄物の処理費用は、受注者負担とする（消耗した用具等については受注者が責任をもって持ち帰る）。

8 業務の検査

施設管理担当者の指示に従い、支払いに伴う履行検査を受ける。

9 駐車場の利用

施設内の駐車場の利用については、協議によるものとする。